



令和2年3月定例会

# 有田町 議会

だより No53



芸術表現コース 有田セラミック分野 授業風景



佐賀大学 芸術地域デザイン学部 有田キャンパス

## CONTENTS

- 令和元年度一般会計補正予算 P2  
4,901万円を増額補正
- 令和2年度一般会計予算 P3  
114億7,400万円に
- 委員会報告 P5~
- 一般質問 14人が町政を問う P8~

令和2年4月28日 発行

# 令和2年 第8回定例会 (3月議会)

## 令和元年度 一般会計予算 4,901万円を増額 総額121億6,689万円に

令和元年度一般会計補正予算の主な事業

(単位：万円)

事業名	内 容	補正額
GIGAスクール構想事業	町立小中学校のネットワーク調査・設計委託料・ネットワーク工事	10,000
社会資本整備総合交付金事業	工事請負費 (未就学児安全対策)	8,660
社会資本整備総合交付金事業	橋梁撤去負担金 (泉山25号線)	7,005
高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業	コミュニティハウス建設工事請負費	△ 7,270
国民健康保険事業	保険基盤安定操出金、出産育児一時金操出金等	△ 3,288
財産管理事業	町有地宅地計画策定業務委託料、旧すがの保育園解体工事請負費等	△ 1,441

### 特別会計・企業会計補正

○国民健康保険特別会計	407万円	(一般被保険者療養給付費等の増)
○後期高齢者医療特別会計	465万円	(後期高齢者医療広域連合納付金の増)
○介護保険特別会計	△3,315万円	(居宅介護サービス給付費等の減)
○公共下水道事業会計	697万円	収益的支出(固定資産除却費)
○農業集落排水事業	1万円	収益的支出(負担金)
	△2,445万円	(企業債、国庫補助金、県道電柱移設工事補償費)
	△2,477万円	資本的支出(委託料、工事請負費)
○浄化槽整備推進事業	201万円	収益的支出(固定資産除却費)
	△8万円	(建設改良企業債・国庫補助金・工事負担金)
○水道事業会計	66万円	収益的収入(消火栓修繕負担金)
	475万円	収益的支出(消費税)

議員と話す会報告	目 次													委員会報告 産業建設、文教厚生、総務	議案審議	当初予算	補正予算																
	一 般 質 問																																
	蒲原	梶原	池田	樋渡	立部	古賀	諸隈	今泉	原田	中島	岳川	久保田	藤					松永															
	児童虐待の防止	観光客増のための環境整備を	公共下水道の接続対策	上水道の消毒薬の減薬	今後の農業振興	内山地区の再開発策定	泉山の買い上げ地活用	交差点の安全確保	南部工業団地の決断	町民栄誉賞の制定は	町の事業承継の現状は	ため池崩壊時の想定	将来的政策や資金調達	クリーンパークの現状は	P22～P23	P21	P20	P19	P18	P17	P16	P15	P14	P13	P12	P11	P10	P9	P8	P5～P7	P4	P3	P2

# 令和2年度 一般会計予算 114億7,400万円を可決

令和2年3月議会は、3月3日から3月13日まで11日間の会期で、開催されました。

初日には町長から今後の町づくりの施政方針が発表されました。

令和2年度一般会計予算は、新年度の通年予算であり、昨年に引き続き枠配分方式を取り入れ、限られた予算を効率的かつ効果的に活用する編成となっています。

## 令和2年度の主要事業と予算

- 議会費：議会タブレット事業 168万円  
議会のペーパーレス化を図るために要するタブレット通信料など。
- 総務費：定住促進事業 3,280万円  
有田町への定住を促進するため、住宅の取得等に対し奨励金を交付。
- 民生費：子どもインフルエンザ予防接種助成事業 300万円  
助成対象者を、1歳から中3までに拡大。
- 衛生費：伊万里・有田地区医療福祉組合(病院事業会計)負担金 20,450万円  
伊万里有田共立病院事業運営に要する負担金。
- 農林水産業費：中山間地域等直接支払制度事業 7,296万円  
中山間地域の農業と農地等が守られるよう、交付金による支援。
- 商工費：グローバル人材交流事業 100万円  
佐賀大学、立命館アジア太平洋大学と連携し、学生のインターンシップや現地実習等の人材交流を行い、グローバルな視点を備えた人材育成を目指す。
- 土木費：社会資本整備総合交付金事業(南原原宿線道路改良事業) 15,013万円  
(財源：国7,950万円、合併特例債6,700万円) 用地購入費、補償費など。  
交通安全対策補助事業(下舞原松葉線) 3,010万円  
(財源：国1,740万円 合併特例債1,200万円) 工事請負費。
- 消防費：消防団員訓練・研修事業 339万円  
消防団員としての資質向上を図るための訓練手当や消防学校入校経費。
- 教育費：不登校傾向生徒支援事業 190万円  
相談業務委託料。  
ありたを誇りに思う教育推進事業 24万円  
子どもたちが家族や地域の歴史を調べ発表することで、家族の絆や地域愛を育む。  
(学校教育) 小学校4校の教育振興事業 727万円  
中学校2校の教育振興事業 1,532万円  
(生涯学習・社会体育) 歴史と文化の森公園管理事業 10,834万円  
(財源：繰入金5,364万円、緊急防災・減災事業債1,540万円)  
赤坂球場施設管理事業 33,837万円  
(財源：県513万円、使用料9万円、合併特例債31,520万円)  
(文化財) 伝統的建造物群保存修理事業 2,445万円  
(財源：国1,027万円、県369万円)  
内山地区を中心に保存修理を行い、歴史的景観の維持に努める。

## 町の予算規模の推移 (3カ年)

有田町全体での予算規模をみると、令和2年度の一般会計は前年度比6.3%増、特別会計は1.7%増、企業会計は11.1%減、総額では2.5%増となっています。

	一般会計	特別会計(※1)	企業会計(※2)	総額	対前年度伸び率
H30	102億2300万円	56億5318万円	24億6719万円	183億4337万円	2.6%
R1	107億9200万円	51億373万円	26億6735万円	185億6308万円	1.2%
R2	114億7400万円	51億8856万円	23億7032万円	190億3288万円	2.5%

(※1) 特別会計：国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、有田南部工業団地造成事業

(※2) 収益勘定及び資本勘定の歳出額の合計：水道事業、浄化槽整備推進事業、公共下水道事業、農業集落排水事業

# 令和2年第8回定例会における議案の審議結果

議案番号	提出議案	議決の結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成全員
議案第1号	専決処分(令和元年度有田町一般会計補正予算(第6号))の承認を求めることについて	賛成全員
議案第2号	有田町教育長の任命について	賛成全員
議案第3号	有田町教育委員会委員の任命について	賛成全員
議案第4号	新町建設計画の一部変更について	賛成全員
議案第5号	伊万里・有田地区定住自立圏形成協定の一部変更について	賛成全員
議案第6号	有田町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例について	賛成全員
議案第7号	有田町印鑑条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第8号	有田町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第9号	有田町監査委員に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第10号	有田町行政財産使用料に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第11号	有田町営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第12号	有田町体育施設条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第13号	有田町都市景観条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第14号	令和元年度 有田町多世代交流センター新築建築工事請負契約の変更について	賛成全員
議案第15号	令和元年度 有田町多世代交流センター新築電気、機械設備工事請負契約の変更について	賛成全員
議案第16号	町道路線の認定について(町道外尾山18号線・19号線)	賛成全員
議案第17号	町道路線の変更認定について(町道本幸平1号線)	賛成全員
議案第18号	町道路線の廃止について(町道本幸平2号線)	賛成全員
議案第19号	令和元年度有田町一般会計補正予算(第7号)について	賛成全員
議案第20号	令和元年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	賛成全員
議案第21号	令和元年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第22号	令和元年度有田町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	賛成全員
議案第23号	令和元年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第24号	令和元年度有田町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員
議案第25号	令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第26号	令和元年度有田町水道事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員
議案第27号	令和2年度有田町一般会計予算について	賛成全員
議案第28号	令和2年度有田町国民健康保険特別会計予算について	賛成全員
議案第29号	令和2年度有田町後期高齢者医療特別会計予算について	賛成全員
議案第30号	令和2年度有田町介護保険特別会計予算について	賛成全員
議案第31号	令和2年度有田町南部工業団地造成事業特別会計予算について	賛成全員
議案第32号	令和2年度有田町公共下水道事業会計予算について	賛成全員
議案第33号	令和2年度有田町農業集落排水事業会計予算について	賛成全員
議案第34号	令和2年度有田町浄化槽整備推進事業会計予算について	賛成全員
議案第35号	令和2年度有田町水道事業会計予算について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は委員会報告をご覧ください。

産業建設常任委員会

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則  
副委員長 久保田 均

▼有田町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

久保田委員 町長が定める入居者が負担する費用の施行規則の説明を。

建設課長 連帯保証人が負うべき補償額は、家賃等18カ月分、金額は約65万円。修繕費用の負担は主に畳の表替えやふすまの張替え分の費用。

(採決の結果) 賛成全員

▼町道路線の変更認定

久保田委員 変更になった事情とは。

建設課長 札の辻交差点付近の電線地中化で佐賀銀行の花壇付近に地上器の設置を相談した折に、銀行からの地籍更正等の申し出があったため。

(採決の結果) 賛成全員

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

▼令和元年度有田町一般会計補正予算(第7号)

岳川委員 有害鳥獣の捕獲量は減っているのか。幼獣の報奨金の増額を。

農林課長 捕獲頭数は平成30年度とほとんど変わらない。報奨金の見直しは、今後協議していきたい。



▲捕獲されたイノシシ

原田委員 プレミアム付商品券事業の大幅な減額の理由は。

理由は。

商工観光課長 対象だった非課税の方に申請の手間があったため。全国的にも申請者が少ない傾向だった。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第2号)

原田委員 浄化槽から公共下水道へ切り替えのお願いをしているのか。

上下水道課長 個人で合併浄化槽を維持管理されている方には、受益者負担金の説明会で、切り替えの説明をしている。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第2号)

立部委員 今年の目標数は61基だが、実際何基か。上下水道課長 数は56基である。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和2年度有田町一般会計予算

立部委員 土地改良施設維持管理適正化事業の説明を。

建設課長 原明地区の中川内上ため池の整備補修を行うもの。

梶原委員 青木龍山、清高記念館事業が進まない。このままでは有田で唯一の文化勲章受章者が忘れられるのではないか。

商工観光課長 展示場だけを開館しても集客の心配がある。建物整備には相応な費用がかかるので、民間へも相談し、方向性を模索中である。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和2年度有田南部工業団地造成事業特別会計予算

梶原委員 造成事業に関して、拓くタイミングはいつなのか。

副町長 企業を呼ぶためには拓いていた方がよいが、現在工事費が上昇傾向である。前向きに進めたいが、判断が難しい。

(採決の結果) 賛成全員



▲ポーセリンパーク側上空より望む南部工業団地予定地

次の議案は賛成全員で可決しました。

▼有田町営住宅条例の一部を改正する条例

▼町道路線の認定

▼町道路線の廃止

▼令和元年度有田町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

▼令和元年度有田町水道事業会計補正予算(第3号)

▼令和2年度有田町公共下水道事業会計予算

▼令和2年度有田町農業集落排水事業会計予算

▼令和2年度有田町浄化槽整備推進事業会計予算

▼令和2年度有田町水道事業会計予算

▼令和2年度有田町農業集落排水事業会計予算

▼令和2年度有田町浄化槽整備推進事業会計予算

▼令和2年度有田町水道事業会計予算

▼令和2年度有田町水道事業会計予算

業会計予算

# 文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 今泉藤一郎  
副委員長 蒲原多三男

▼令和元年度有田町多世代交流センター新築建築工事請負契約の変更

福島委員 道路の安全対策を考慮して欲しいが。

副町長 マイクロバスが入りしやすいように道路を拡幅する工事を。

諸隈委員 大幅な設計変更にならないように、工費は設計の段階から精査して欲しいが。加えて、ランニングコストが掛からないように注意すべきでは。

副町長 設計段階で今後精査していききたい。皆さんに喜ばれるような施設にしていきたい。

子育て支援課長 今後は、多額の工事増にならないように注意をしていきたい。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町多世代交流センター新築電気、機械設備工事請負契約の変更

藤委員 他の事業も契約関係は注意をして、慎重にして欲しいが。

副町長 設計の段階で精査をしていききたい。

(採決の結果) 賛成全員



▲多世代交流センター「ゆいたん」

▼令和元年度有田町一般会計補正予算(第7号)

諸隈委員 施設等利用給付事業の減額の説明を。

子育て支援課長 未移行幼稚園や認可外保育施設等への給付分が実績見込みにより減額になった。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

福島委員 国保会計への繰出金の状況は。

健康福祉課長 被保険者数は減っているが、高齢化が進んで低所得者世帯が増えるため、繰出金は減らない状況。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

福島委員 高齢化が進む状況で、今後の繰出金はどのようになるか。

健康福祉課長 負担割合が12分の1になっており、今後被保険者が増えることから、繰出金は減らない状況。

蒲原委員 今後は介護士が不足するが、町独自で介護従事者へ手当の加算ができないか。

健康福祉課長 そのような問題が出てくると思うので、今後考えていく。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和2年度有田町一般会計予算

藤委員 老人施設入所の説明を。

健康福祉課長 現在12人の入所で、来年度は2人増を見込んでいる。これは、経済的に厳しく一人暮らしが困難な方を対象に措置入所を実施している。

費用は交付税措置の対象となつている。

諸隈委員 配食サービスの現状は。

健康福祉課長 現在26人。福島委員 不登校傾向生徒支援事業の現状は。

教育長 不登校はいろんな要因があり、一人ひとりの状況が違うので、対話を大切にして適切な対応を心掛けています。

藤委員 東京オリンピック聖火リレー事業費の説明を。

生涯学習課長 有田町で5月10日に行われる聖火リレーで、旧東出張所から泉山の磁石場組合事務所付近までの2・3kmで実施される。その際に、300人程のボランティア

アを予定している。副町長 この警備体制は警察と県実行委員会からの要請である。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和2年度有田町後期高齢者医療特別会計予算

今泉委員 今後の保険料はどうなる。

健康福祉課長 令和2年度と令和3年度までは、均等割額が51,800円から52,300円に増額。所得割額の率が9.88%から10.06%に上がる。

(採決の結果) 賛成全員

次の議案は賛成全員で可決しました。

▼有田町体育施設条例の一部を改正する条例

▼有田町都市景観条例の一部を改正する条例

▼令和元年度有田町介護保険特別会計補正予算(第4号)

▼令和2年度有田町国民健康保険特別会計予算

▼令和2年度有田町介護保険特別会計予算

## 総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないことへ全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 古賀 四郎  
副委員長 松永 俊和

▼令和元年度有田町一般会  
計補正予算(第7号)

松永委員 地域の未来ス  
イツ事業費減額の説明を。  
まちづくり課長 この事業

▼新町建設計画の一部変更  
松永委員 計画書の表やグ  
ラフが平成12年ごろの分  
で情報が古い。新しい情  
報にすることはできない  
か。

まちづくり課長 この計画  
は合併時に立てたもの。  
計画では合併当時の状況  
を踏まえ、今後のまちづ  
くりを示す必要があり当  
時の情報を掲載している。  
(採決の結果) 賛成全員

▼有田町行政財産使用料に  
関する条例の一部を改正  
する条例

池田委員 町の施設利用料  
単価の根拠と今後の規定  
を定めるべきでは。

財政課長 経費や耐用年数  
を参考に規定されている。  
一部見直しは行っていた  
が過去の経緯から齟齬が  
発生するので厳しい。  
(採決の結果) 賛成全員

松永委員 旧すがの保育園  
追加料金がわからないよ  
うにしたい。

▼令和2年度有田町一般会  
計予算

樋渡委員 議会タブレット  
事業で、データ容量が増  
えても大丈夫なのか。

財政課長 保存容量はある  
程度は大丈夫である。運  
用が確実に固まってい  
ないので今後の検討課題  
になるが、工夫しながら  
追加料金がわからないよ  
うにしたい。



▲タブレット使用の議会

解体工事の説明を。

財政課長 内容を見直して  
この金額になった。当初  
は建物だけを解体する予  
定だったが、今後のこと  
を考へて建物の周囲を含  
めて解体と整備をするこ  
とになった。

中島委員 防災諸費事業で、  
町内でも防災士が増えて  
きたが、連絡協議会のよ  
うな活動は。

総務課長 現在、町内に防  
災士が40〜50人程おられ  
る。町では自主防災組織  
連絡協議会を立ち上げて  
いる。防災士は地域に根

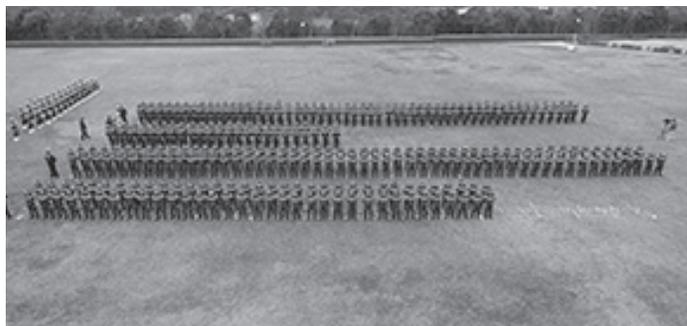


▲防災訓練の写真

差した活動をされている  
ので、情報交換の場が必  
要であれば今後考えてい  
きたい。

中島委員 消防団員訓練・  
研修事業で団員の加入促  
進への予算は検討されて  
いるか。

総務課長 町内各部の格納  
庫へ、募集ののぼり旗や  
車へのステッカーを設置  
するなど告知をしてきた。  
団員加入促進は消防団の  
幹部会でも検討されてい  
る。今後も消防団と話を  
しながらベストな方法を  
考えていきたい。  
(採決の結果) 賛成全員



▲出初式写真

次の議案は賛成全員で可  
決しました。

▼伊万里・有田地区定住自  
立圏形成協定の一部変更

▼有田町公益的法人等への  
職員の派遣等に関する条  
例

▼有田町印鑑条例の一部を  
改正する条例

▼有田町監査委員に関する  
条例の一部を改正する条  
例

▼有田町行政財産使用料に  
関する条例の一部を改正  
する条例



松永 俊和 議員

クリーンパーク有田についての地元説明は

答 飛灰搬入状況や水質は報告している

環境行政

▽飛灰の搬入状況

議員 さが西部クリーンセンターからの飛灰の搬入状況は。

住民環境課長 平成27年からは左記の通り。

平成27年度	}	2,118トン
平成28年度		
平成29年度		1,558トン
平成30年度		1,594トン
令和元年度		1,800トン
覆土は合計		1,000トン
(総合計で約8,000トン)		
令和元年度は災害廃棄物を含む		

搬入実績は計画の半分ほどになっている。

議員 災害廃棄物を受け入れて、水処理施設の不具合などはないのか。

住民環境課長 平成28年度から比べるとカルシウム濃度が高くなっている。

議員 放流水の水質変化や対応策などを地元へ告知はできているか。

住民環境課長 カルシウム濃度が高くなると、施設の配管がつまり、水処

理ができなくなる。炭酸

ソーダの添加量を増やし、化学反応時間を長くする

ため、反応槽を大きくして対応している。固めた

カルシウムは、取り出して放水している。問題が

発生した段階で、地元の区長や生産組合長に連絡

している。対策の終了後は地元へ結果報告をして

いる。

議員 今後問題などが発生した場合は、速やかに地元へ連絡と対応を。

住民環境課長 そのように対応する。

議員 処分場は、あと何年ぐらい使えるのか。

住民環境課長 搬入状況と現容量から最長で10年程使えるとみている。



▲クリーンパーク有田

議員 まだ先のことだが、

跡地利用について地元との覚書に「最終処分場閉

鎖後、跡地利用については、戸杓区と協議して決

める」とあるが、家庭菜園や町営のグラウンドに

して欲しいなどの声がある。跡地利用には、地元

と十分協議して決めてほしい。

住民環境課長 閉鎖後については、地元と協議して決めていきたい。

▽戸杓川の堆積物の除去

議員 昨年の豪雨で堰(せき)が堆積物で川幅一杯になった。このまま

では、少しの雨量でも越水して水田や民家に甚大な被害が起きてしまう。

梅雨までに堆積物の除去をして欲しい。



▲戸杓川の堰

建設課長 ここは泉河川なので伊万里土木事務所へ報告し、要望している。

下水道接続

▽上有田駅のトイレ

議員 上有田駅のトイレは観光客が多く利用されている。以前、簡易水洗化をお願いした。「間もなく公共下水道ができるので、接続して対応したい」と答弁をもらったが、

まだ接続できていない。本管がすぐ近くにでき、

地元の方も待ち望んでいる。トイレはJRの所有

であるが観光の面からもきれいなトイレを望む。

商工観光課長 管理や清掃もJRで行っている。

昨年7月に地元区長や、まちづくり団体が、「上有田駅公衆トイレ水洗化」の請願書を提出されてい

る。JRに確認したが、現時点では、JR内関係

部署で協議を行っている。町も観光面・利便性を考

え、JRに要望を続けていく。

年配者が安心して生活できる施策

▽デマンドタクシー採用

議員 交通空白地区の解消対策は。

まちづくり課長 境野・古木場・南山地区が交通空白地域である。この地区において、西地区のデ

マンドタクシー方式を導入し4月から運行する予定である。

▽買い物弱者対策

議員 生活必需品や生鮮食品などの小売り商店が

廃業され、年配者は近所で買い物ができなくなる。

この傾向は有田町全域の傾向である。町の施策として「コミュニティーバス

やデマンドタクシー」などがあるが、地区の公民館や広場で移動販売をし

て欲しいとの声がたくさんある。経産省の補助制

度や町で対応がないか、

考えてほしい。

独自GCFなどの将来的な政策や資金調達が必要では

答 有田の魅力を活かした仕掛けや研鑽に努める



藤 誠一郎 議員

新型コロナウイルスに対する感染予防を含めた危機管理の徹底を！

**議員** 政府は1月28日で、「指定感染症・検疫感染症」とすることを閣議決定した。政令も2月1日に前倒しで決定。法律に基づいて患者の強制的な入院や、就業制限などができるようになる条件が異例の早さで整った。町の役割と対応・対策の状況は。

**健康福祉課長** 感染症情報は、国から県へ伝わり、その後は医療機関ではなく佐賀県医師会への連絡と同じタイミングで町に情報が届く。町民へ正しい情報を素早く提供することが重要。すでに地区医師会や医療機関と連絡体制をとっている。

**議員** 町民への予防周知は。また感染者が出た場合の対応はどうなるか。

**健康福祉課長** 情報は日々変化している。その都度HPや防災メール、有

田ケーブルテレビの協力によるスポット告知で最新情報を伝える。また全戸配布チラシや回覧板で周知している。仮に感染者が出た場合は、国の方針に従って対応する。町民の方々には、あらかじめ相談センター・かかりつけの医療機関へ電話連絡をした上、指示に従い行動していただきたい。

**議員** 博多着クルーズ船の中国人観光客4人が失踪する事案があった。入国済の保菌疑い外国人の発見、連絡・相談はないのか。

**健康福祉課長** 帰国者・接触者相談センターである保健福祉事務所には、現時点で感染症に関する相談等はあっていない。外国人の密航難民には、保健福祉事務所での感染確認や指定医療機関への搬送などの対応と考える。

**議員** 「トイレ」や「食事処」など観光客が集中する場所での対策・留意すべき点は。「陶器市」

への悪影響も考え、経済的支援も必要では。

**健康福祉課長** 店頭でのマスク着用はもちろん、主催者側でも案内所・駐車場等にてマスク配布やアルコール消毒液の設置を行う。そのほか飛沫感染・接触感染を防止する取り組みが考えられる。

**町長** 今後の感染流行状況によるため難しい判断だが、町にとっても大事な経済活動である。主催者である商工会議所や業界など各関係者と密な連携で、対応していく。

有田の未来ビジョンに向けて「人・物・金」の充実を図り、自立行政を目指すために！

**議員** 本年は人口減少に対する持続可能な地域づくりを目指す、第2期「有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定年である。APU※1の交流協定が締結された。どういった人材を有田で育成したいのか、

なぜ関係人口※2を集めたいのか。

**商工観光課長** 学生のインターンシップを通じて事業者間交流や将来的な活動の場を有田の地に選んでもらえるよう期待している。事業を通して、国際社会に対応できるような人材育成につながるばと考えている。

**議員** 「稼ぐ地域」有田」に変えるために、補助金に頼らない独自政策が欲しい。移住を促す対策も限界にきているのでは。企業誘致や観光振興一辺倒は、人口減少や若者流出に歯止めをかけられない。「人・物・金」全てに余裕がないと持続可能な地域社会を維持できない。ふるさと納税も資金や財源集めに制限がかかる中、自治体の新たな調達手段として広がっている広域連携GCF※3の開発や次世代への活用はどうか。

**町長** いかには有田が持つ魅力を活かし、寄附を集

めていけるかが課題。例えば法人版ふるさと納税を学び、プロジェクト化する等、今後に向けて新たな仕掛けができるよう努めたい。

【用語解説】

※1 APU……立命館アジア太平洋大学の略称。大分県別府市に本部を置く日本の私立大学である。

※2 関係人口……移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指す。

※3 広域連携GCF（ガバメントクラウドファンディング）……共通した課題に対し、複数自治体が連携して全国から寄附や資金を募る仕組み。



久保田 均 議員

## 溜池決壊時の想定は

**答 甚大な被害を及ぼすと認識**

### 下の溜池の浚渫工事

▽浚渫に至った原因、経緯、浚渫費、受益者面積の増減推移、水田転作、畑作化による堤の用途変更の可能性と今後の管理

**議員** 10年ほど前、議員になった頃、区民から悪臭対策の要望を受けたが、地元受益者の負担で解決すべきであると指導を受けた。今までの町長は、地元受益者負担なしの判断ができなかった為に周辺の人たちは長い間臭い



▲地元負担なし溜池浚渫

に悩まされてきた。今後同じ状況が発生した場合、町は同じ対応を速やかに取ることを確認したい。

**建設課長** 議員が平成26年3月に質問された際の答弁は元農林課長が基本的なため池の維持管理に対する町の考え方を答弁されたと記憶している。

**生涯学習課長** この溜池は世界焔の博覧会前に統合整理されたものであり、雨の日以外は、溜池への水の流入が非常に少なく水が循環しない要因で、水草が大量発生した。悪臭の度合いが増してきたため、平成30年に近隣の黒川区から悪臭環境について要望があった。溜池を干して、状況を見たが根本的な解決策がなかったため、庁内協議の結果、文化的な歴史公園周辺の環境面及び溜池管理者だけの問題で済まされないことを考慮し、560万円ほどをかけて溜池環境の改善を図ることとした。

### 北ノ川内新堤の現状と機能向上

▽決壊時に下流部の被害はどのような状況を想定するか

**議員** 昨年8月27日の大雨で、新堤を管理している方は心配で午後から会社を休み、堤の状況を確認された。すでに堤の水はノコシ(※)では吐ききれず土手を超える状況で、決壊の恐れを感じ、区長と相談して周辺住民20数人と避難を始めた。決壊時の状況をどのように想定するか。



▲1.5km下流新定2号橋

▽防災溜池としての機能向上のためにノコシの改良

**議員** このノコシの状況は貧弱で、今年の雨季までに、ノコシの改良に取り組んでもらいたい。



▲新堤のノコシの改良を



▲新堤上流部の詰まった側溝

▽堤への流入箇所上流部の問題点・個人負担による防災工事は町の責任放棄では

**議員** 山の斜面からの水と、枯葉や落ち葉で詰ま

った側溝の水で道路は川の状態で通れなくなる。流入口の改良が必要だ。

**建設課長** 町道開田線の道路側溝・柵の土砂堆積については、過去2年に渡り、豪雨で堆積した土砂の撤去を実施している。流入口の管理はその都度している。責任放棄ではない。



▲山羊での農用地機能維持管理状況(北ノ川内)

▽山羊による農用地機能維持管理の助成を

**議員** 山羊は耕作放棄地をよく管理している。飼育用ネットに助成をして欲しい。

**農林課長** 中山間地域等直接支払制度での、対応をお願いしたい。

※ノコシ：余水吐(堤から川への出口)

# 地場産業の事業承継の現状は

答 業種を問わず後継者不足である



岳川 淳彦 議員

## 事業承継

▽農林業、窯業、商工業の事業承継

**議員** 地域や経済の賑わいを担う中小企業、小規模事業者の事業承継は大きな課題となっている。県内でも37%が後継者不在と言われているが、町の現状は。

**農林課長** 現在、人・農地プランの取り組みで各集落を回っている。担い手の問題はどの集落でも同じような課題となっている。農業における承継者はここ数年で新たに5人程いる。

**商工観光課長** 商工会議所が、約400の事業者にヒアリングを実施している。後継者が決まっていると回答した方が3割、いないが3割、残りの4割がまだ決まっていないとなっている。陶磁器業界に関しては、窯元、商社は、先ほどの比率とあまり変わらない結果にな

っているが、型、生地製造業では後継者がいないとした回答割合が高くなっている。

▽事業承継税制の相続税及び贈与税

**議員** 納税猶予制度の説明を。

**税務課長** 事業承継税制は個人版と法人版があり事業後継者が贈与または相続した際に課される税が、一定の要件を満たせばその納税が猶予され最終的には免除となる制度。個人版は特定事業用資産（土地・建物・減価償却資産）法人版は非上場株式等が対象となる。

▽円滑な事業承継

**議員** 資金と情報の手助けが必要だが、支援や補助事業に対して町の考えは。

**商工観光課長** 町としては独自の支援策はないが、各種融資制度などの対応をしている。  
**町長** 人口減少は間違い

ない流れで、事業をどのように残していくのかが課題であり、県と情報交換をして、承継がスムーズにいくよう対応していきたい。



▲事業承継のセミナーのようす

## 感染症ウイルス

▽インフルエンザなどの感染症対策

**議員** 新型コロナウイルスの感染拡大が広がっているが、隠れたインフルエンザの状況は。

**健康福祉課長** 県内のピークが1月20日から26日の1週間で、1医療機関

平均27・51人での後は、激減した。これは新型コロナウイルスの關係で予防意識が高まったためである。

**議員** 感染症予防は人だけでなく、定期的に鳥インフルエンザなども懸念されるが、対策は。

**農林課長** 防疫対策は県のマニュアルに基づき町のマニュアルを作成して入防止対策事業を行っている。ブローラーについては、各農場の出入は関係者のみで、農場入口に石灰散布をしている。

## 災害復旧

**議員** 前回の議会で査定

が終わって復旧額が決まったと回答されたが、額には変動はないのか。  
**建設課長** 農地、農業用施設、災害復旧の最終査

定額が決定し、約1,000万円の減額となった。理由として、有田川の川口頭首工の見積りが甘かった。

**議員** 町の災害復旧の進捗状況は。

**建設課長** 災害復旧事業を進めて早期復旧を目指したい。公共土木工事進捗率が20%、農林地崩壊防止事業が0%、農地農業用施設が10%である。

**議員** 幸平4号線（陶祖坂）の復旧は陶器市までに間に合うのか。

**建設課長** 入札不調があり設計変更などをして対応しているが、陶祖祭には間に合わない。  
**議員** 対応策は。  
**建設課長** 仮設の足場をつくり対応したい。



中島 達郎 議員

町民に希望と活力を！町民栄誉賞の制定は

答 機運が盛り上がれば早急に規則制定をしたい

町の表彰規則の改正

**議員** スポーツや文化面で、町民に希望と活力を与える顕著な功績があった者に、栄誉を讃えることを目的とした町民栄誉賞表彰規則の制定は。

**総務課長** 全国の自治体、市町村では、住民に夢と希望を与える功績があった者に対し授与する機会がある。今後対象となる住民に対して、表彰的なものを授与すべきという機運が盛り上がった時には、協議の上、早急に規則を制定したい。

**町長** 課長と同感だが、担当課と慎重に協議を重ねた上で、皆が納得した形で進めていきたい。  
**教育長** 町民栄誉賞制定の意図は充分理解でき、しっかりと検討するべきと判断している。

町職員のスキルアップ

▽職員の種類技能資格

**議員** 以前、幸せな町の運営はこの問いに、町長は、「町の総合商社としての職員の能力アップを図ること」と答弁した。町職員が各種資格を取得することも住民サービスの一環に寄与することで。

**総務課長** 町職員が各種資格を取得することは、メリットが大きいと思う。  
**議員** 職員に有害鳥獣捕獲従事者の免許取得は。

**農林課長** 有害鳥獣捕獲業務は、片手間でできるものではない。担当職員は、各研修などに積極的に参加し、情報提供に努めている。

**議員** 昨年、散策したい焼き物の里10選で1位に輝いた有田町。かたや、一生涯かなそうな都道府県最下位の佐賀県。こうした矛盾を解消する役目が、焼き物が主たる産業

町内施設の有効利用

▽東の玄関口石場相撲場

**議員** 陶器市や秋の陶磁器まつりなど、年間を通しての石場相撲場の利用はできるのか。

**商工観光課長** 利用制限はしていない。進入路が狭いので、車両制限を行えば利用可能か。イベントなどで年間を通しての観光客が増えれば、トイレの整備も必要となる。



▲ベンジャラのある小径

**議員** 平成3年12月大相撲有田巡業で、数千人の観客で賑わった相撲場。進入路右側石段にも、観光誘引の仕掛けとして、ベンジャラを埋め込み、観光客に利用して欲しい。



▲石場相撲場

防災と災害の損害補償

**議員** 昨年11月に、大手

損害会社と連携を締結したが、防災等の内容は、**総務課長** 相互が密接に連携することにより、各々の資源を有効に活用し、地方創生への取り組みを推進することが目的であり、町主催の防災事業等では、講師派遣を依頼することができない。

**議員** 豪雨災害等により10世帯以上の家屋の全壊があった場合、1戸当たり300万円の助成（激甚災害）がある。しかし家を立て直すとしたら明らかに資金が不足する。防災事業で万が一に備えた「安心の防災・安心の減災」としての保障制度の相談コーナーの開設は、**総務課長** 要望があれば、全般的な保険制度のあり方についての協力を願えばと思う。

# 南部工業団地 町長の決断と実行あるのみでは

## 答 県と共に事業を推進していきたい



原田 一宏 議員

### 企業誘致

**議員** 本年1月20日に産業委員会にて県庁・企業立地課を訪れ、企業誘致についての質疑を行った。「売るためには時間がかかるので、ある程度拓いて準備しておく必要があるが、県としては町と歩調を合わせていきたい」



▲航空写真 ②



▲平面図 ①



▲完成予想図 ③

- ①南部工業団地 平面図
  - ② " " 航空写真
  - ③ " " 完成予想図
- (資料：佐賀県・工業団地のご案内)

このことであつた。昨年  
から延べ14人の議員が企  
業誘致の一般質問を行つ  
ている。町長の決断と実  
行あるのみと思うが。  
まちづくり課長 県との  
共同事業ということでは、  
周辺整備と分譲単価をで  
きるだけ抑える検討をし  
ている。県は特任チーム  
を配して、PR・周知活  
動をしている。また、想  
定される課題を整理して、  
県と共に企業立地に向け  
事業を推進していきたい  
と考えている。

### 新型コロナウイルス

#### ▽観光対応

**議員** 有田町を訪れる外  
国人観光客への対応は、  
商工観光課長 キルン有  
田を訪れる観光客は、2  
月が60%ダウンであつた。  
また、中国からの大型ク  
ルーズ船は2～5月にか  
けて完全にストップとい  
う状況である。町として  
は、マスク着用やこまめ  
な消毒をお願いしている。  
**議員** 町経済へも影響が  
懸念されるが、何らかの  
支援策はあるか。

**商工観光課長** 国・県の  
追加融資もあるが、町と  
して具体的な策は見出せ  
ていない。今後、商工会  
議所などと連携して対応  
していきたい。

#### ▽町民への注意喚起

**議員** もし、町内で感染  
者が出た場合の対応は、  
健康福祉課長 結論が出  
ていない状況だが、随時  
関係団体と協議・検討し

ている。  
町長 県と連携を密に取  
りながら、最悪のシナリ  
オを描いて、動いてもら  
っている。共立病院や医  
師会を中心に協議ができ  
ているものと思う。

### 令和元年一般質問の 答弁の検証と対応

#### ▽ふるさと納税

**議員** 今年度の状況は、  
総務課長 3月末見込み  
で、9億6千万円前後で  
ある。昨年度より約2千  
万円の前減である。  
**議員** 返礼品の状況は、  
総務課長 今年度は、陶  
磁器関連が1位(寄付額  
約4億5千8百万円)で、  
2位が肉(同1億2千8  
百万円)、以下加工品・  
酒・米と続いている。  
**議員** 返礼品で新しい取  
り組みはあるか。

**総務課長** 町内で利用で  
きる「電子感謝券」を取  
り入れよつと思つている。  
町内の登録店で利用できる  
感謝券で、スマホ対応

にして、6～7月から使  
用可能にしたいと思つて  
いる。

#### ▽ゴミ対策

**議員** 依然として、ゴミ  
の不法投棄は減らないが、  
監視カメラの設置状況は、  
住民環境課長 監視カメ  
ラは2台保有しており、  
現在1台稼働中である。

**議員** ポイ捨てがある場  
所への監視カメラ設置も  
可能か。  
住民環境課長 区長もし

くは関係者と協議すれば、  
設置場所にもよるが、可  
能である。

その他の質問

答弁の検証と対応

- ▽特殊詐欺、▽消防関連
- ▽自転車事故の危険性
- ▽防災対応、▽産業振興、
- ▽観光振興



今泉 藤一郎 議員

## 交差点の安全を確保せよ

### 答 警察・公安委員会に強く訴える

#### 農業施策の現状と今後

**議員** 中山間地域等直接支払制度も20年が経過し、平成29年度実績では協定参加者が565人、面積292ha、金額約6243万円である。新年度予算で7296万円とあるが管理の継続は大丈夫か。また、制度変更や課題は、**農林課長** 今までの生産活動の継続なら8割交付となる。課題は高齢化や人口減少による人材確保や協働力の低下。5力年継続ができない場合は個別の農用地分が交付金返還となる。

**議員** 昨年8月施行の棚田地域振興緊急対策交付金制度の活用は。**農林課長** 今までは農作物被害防止事業に取り組んできたが、今後要望等があれば活用を検討する。**議員** 佐賀県農業公社による農地中間管理機構（農地バンク）への登録状況は。

**農林課長** 昨年1年間で、貸付け11人27筆で、借受け7人。面積は3.2haとなっている。

**議員** 相続未登記農地は法律改正により、固定資産税を納付する方などが、農業委員会の探索や公示手続きを経る事で、所有者の同意を得たとみなし農地バンクへの登録も可能になった。そこで、荒廃農地と耕作放棄地や遊休農地の現状は。**農林課長** 通常の農作業では作物の栽培が不可能な荒廃農地は332haで、再生可能な田は11ha。畑が19ha存在する。

**議員** 人・農地プランの実質化に向けた進め方と取り組み状況。また、各集落にある任意の生産組合を組織扱いができないか。**農林課長** まずは各集落で農家にアンケート調査をして、結果をグラフや地図で説明する。それと後継者・農地・経営の問題を区分する。2回目は

まとめを報告する流れである。現在11集落で行っている。意欲のある方に国・県の補助メニューもあり、町独自の事業を示しサポートしていく。生産組合は特例で組織として認める場合もある。

**議員** 森林や田畑が多面的な機能を持つ事と重要性を頭では理解しているも、時代に流されている。瑞穂の国と言われるが、平成、令和の時代に一部でも荒廃していく事は望ましくない。行政機関としても必要な事はしっかりとしなければならぬ。**町長** 国土保全はたいへん重要である。これ以上荒廃しないように、守るべきところは明確に線引きを行い、補助事業を活用しながら施策をしていく。

#### 交差点の安全確保



▲標識や路面標示が無い丁字路交差点

路開通時には牧地区を横断する十字路交差点ができるが、牧地区と事前協議して、道路標識や路面標示に不備が生じないように対処をせよ。

**町長** 未然に交通事故を防止する事は重要で、警察・公安委員会に強く訴えていく。

**議員** ニノ瀬入口信号機近くの踏切先の丁字路交差点に関わる事で、平成23年に佐賀県公安委員会に、平成24年には町長へ要望書が提出されているが、なぜ横断歩道や停車線の路面標示ができていないのか。**建設課長** 土木事務所は計画したが、公安委員会との実施協議で現在のようになっているとの事だった。



▲県道を渡る横断歩道がない

**議員** そのような事ではいけない。セラムミック道

**議員** 広瀬山に入ります際に通る変形十字路交差点内や近くに、横断歩道はない。町内を総点検して、不備があれば地元と協議して対応せよ。**建設課長** 交差点を点検して、改善が必要な箇所は改善をしたい。

## 泉山の買上げ地の有効活用は

答 専門家と協議してこれから検討する



諸隈 洋介 議員

### 泉山の買上げ地の活用と説明は

**議員** 史跡等買上げ事業で町が買収した土地216㎡の町としての利用方法の考えは。

**文化財課長** 泉山のダイチョウについては天然記念物の指定範囲が昨年10月に追加指定の告示を受けた。樹木医に調査を依頼して現状や今後の適切な対策を報告してもらった。併せて有田で最も古い伝統的建造物なので跡地活用を文化庁や建築専門家とも協議する。安全性やイチョウの生育と



▲泉山大イチョウ下の買上げ地

管理を優先して立ち入りは制限するが、景観には配慮して行事などに利用できるか検討する。

**議員** 折れ木対策と史跡買上げや天然記念物の保全の事業の違いなど、住民への丁寧な説明が必要。また泉山の磁石場に加えてダイチョウも観光の目玉にもなる可能性が高い。地元の意見を反映させて活用をすべきでは。

**町長** 説明不足は回覧板等で周知を徹底する。文化財は守るだけでなく活用するよう先駆的な事例にしていきたい。

### 泉山大谷線の進捗と今後

**議員** 一期工事はすでに完成しており、二期工事の見通しが立たない中で現在のいびつな状態が続くことに住民の不信や不安がある。観光にもマイナスの影響を及ぼすと思われるが今後の進め方を含めた現状は。

**建設課長** 二期工事の用途はたっていない。

**議員** 以前概算で20億を超える事業規模になり町の負担を考えると事業化の要望を先送りし、都市計画



▲中樽橋のいびつな状態の交差点

道路を見直すとの答弁だったが見直しはしたのか。またその結果は。

**建設課長** 今のところはしていない。2路線の廃止の計画はあるが諮問はしていない。

**議員** 進捗のない状況なら、安全のためにミラー設置などの応急処置的な対応が必要ではないか。

**建設課長** 安全対策を通して住民の不信や不安の解消に努める。

**議員** 中途半端なインフラ整備には意味がない。二期工事はするのか、しないのか。

**建設課長** 町の財政が好転すれば早期に進めることが可能と考える。

### ダム周辺のトイレ整備

**議員** 有田ダムのキャンプ場のトイレは閉鎖されているが、撤去を含めてダム下の駐車場、マイセンの森など、3つのトイレを今後どう整備していくのか。

**農林課長** 現在白川キャンプ場トイレは地下水が漏れていたので閉鎖している。今後は3つのトイレを総合的に検討した上で整備したい。

**議員** トイレは観光の要であり、民度の表れでもある。早急に整備すべき。

**町長** トイレは大切だと考えるので取捨選択して合理的に整備を行う。

その他の質問  
赤坂球場の施設管理事業

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



古賀 四郎 議員

内山地区のグランドデザイン策定を

答 令和2年度での策定を計画

泉山大谷線の進捗

**議員** 計画が、膠着（こうちやく）状態だが今後の進め方と地権者・期成会への説明は。

**建設課長** 地権者には役場に來られた折、現状は財政状況が良くなればと申し上げた。

**議員** 以前より期成会も一緒に行動されているが、全体の進捗状況の説明を。また、一期工事の際、残っている中央分離帯の撤去と2・6メートルの高さ制限のあるトンネルを、1メートル位かさ上げはできないか。

**建設課長** 期成会・地権者の方と、話し合いの場



▲泉山・大谷線 中央分離帯

を設ける。工事の方は主体の工事なので土木事務所に問い合わせる説明する。

旧有田小学校跡地

**議員** 跡地の活用方法は。

**商工観光課長** 現在、地元の方がグラウンドゴルフ等で利用されているが、陶器市の時は駐車場に利用している。それ以後は有効活用法を考えたい。

**議員** 陶器市ではこのほか会議所跡地や他の空き地もあるので駐車場も含めて総合的に関係部署などと協議を。

**商工観光課長** 協議しなければならぬと思う。

**議員** 以前は東西地区別に多世代交流センターを建設すると聞いていたがその話はどうなった。

**子育て支援課長** まずは西地区に4月にオープンする交流センターの利用状況等も注視していきたい。

**議員** 計画する際には子ども達の安全上、もう一本橋の建設も考慮を。

電線地下埋設工事

**議員** 住民の方々の承諾と進捗状況は。

**まちづくり課長** 事業区間全体で、9割程度の事業同意を得ている状況。建物調査が完了していないところも、工事着手までに完了する予定である。

**議員** 軒下配線もあり得るのか。

**まちづくり課長** 軒裏配線もゼロではないが、協力をお願いしていく。

**議員** 最近は軒並み工事費用が高騰しているが価格の変動は。

**まちづくり課長** これからの入札となる。

東出張所移転

**議員** 金融機関と契約を結ばれるがこの案件には

議会の同意は必要ないのか。



▲解体中の東出張所

**財政課長** 取得面積から、000平方メートル以下なので議決はいらぬ。

**議員** 町の一等地であり、住民の財産であるから透明性を持たせるために議決は必要ないか。

**町長** 条例で決められている。議決は不要だが、議会の全員協議会で説明する。

**議員** 金融機関移転、旧有小跡地、会議所跡地、イチヨウの木広場の整備

等内山地区が大きく変わるうとしている。石場事務所横入り口からの散策の整備を含め、グランドデザインが必要ではないか。

**まちづくり課長** 今議会に内山地区グランドデザイン策定の予算を計上している。

テレビドラマ誘致

**議員** 数年前まではテレビドラマやCM撮影誘致に力を入れていたが、焼き物を素材としたドラマの誘致は行っているのか。

**商工観光課長** 誘致は行っていない。各種メディアの取材には積極的に協力している。

**議員** 今後、観光には益々力を入れなければならぬのでマスメディア等や企業、関係先への売り込みを出張の際には町長にぜひお願いしたい。

**町長** 当然売り込みには、今以上に力を入れていく。

## 今後の農業振興の取り組みは

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略を中心に取り組む



立部 正則 議員

### 農業振興

**議員** 県の、棚田振興計画を受けて町はどのような対応をするのか。

**農林課長** 指定棚田制度に1地区参加予定で、具体的な取り組みはまだ策定していない。認定されれば中山間交付金に上乗せがある。

**議員** 岳ではTシャツアートの交流イベントは町内では他の地区にもあるか。

**農林課長** ニノ瀬地区が行っている。

**議員** 棚田などでイベントをされるときに町は何かの支援をするか。

**農林課長** 特別な支援はない。公共施設やマイクロバス等の貸し出し支援はできる。

**議員** 麦作が推進されているが、排水が悪いため、面積も伸びない。排水対策の事業はあるのか。

**建設課長** 平成29年まで行ったが、その後要請も

なく、また採択要件が厳しくなっている。



▲湿害の麦田

**議員** 実施した場合の助成はどのくらいか。

**建設課長** 10a当たり15万円である。

**議員** 農畜産物の収益力強化の推進はどのように進めるのか。

**農林課長** 既存作物の収量アップと品質向上が必要。気候変動に合わせた品種の再編、防除技術の徹底、連作障害の克服等を進める。

**議員** 農畜産物の販路確保のための取り組みは。

**農林課長** カット野菜の販路拡大が期待できるのでは。またネット販売も増えると思う。農協・直

売所・青果市場と連携して進める。

**議員** 6次化と農工商連携の推進については。

**農林課長** 金柑・生姜パウダーの試作を実施。生姜パウダーについては、東京で好評であった。周年栽培の作物の推進が必要。ミニイベントでも野菜の持ち寄りができる生産体制を検討したい。

**議員** 地産地消の推進と食育の推進について。

**農林課長** 学校給食へのアスパラガスの提供が行われている。学校田の実施の拡大。地元産のファンの拡大を図りたい。

**議員** 農業体験・農家民泊の推進について。



▲オーナー制度の畑

**農林課長** 畑のオーナー制度を実施中。農家民泊は、1軒の農家が実施中。今後、行政も民泊のノウハウを希望される場所に配信できるようにしたい。

**議員** 荒廃地が332haあるということだが、樹園地を含んでいるのか。

**農林課長** 樹園地を含む。現在も、農業振興地域に含まれているので、その見直しから進める。

**議員** 人・農地プランの中でどのように進めるか。

**農林課長** 地域で残す農地を決めて頂きたいと思うが、国などの補助金等が入っているところはなるべく残したい。

**議員** 農産物の特産品づくりの進捗は。

**農林課長** 農産物開発協議会で朝市を行い地元産の農産物をPR中。ふるさと納税の返礼品の金柑の箱を有工生に作成してもらった。また、種無し金柑の栽培の検討を佐賀大学へ依頼している。

### 先生間のいじめ



▲有工生デザインの金柑箱

**議員** 神戸で発生した先生間のいじめのようなことは町内の学校では発生していないか。

**教育長** 有田町内では発生していない。

**議員** 神戸のいじめ問題で、先生の異動について教育委員会は追認というような記事が出たが、異動についての対応は。

**教育長** 本人にヒアリングしながら決定している。教育委員会も十分関与している。



樋渡 徹 議員

# 上水道の消毒薬の減薬を

答 法定内で行っている

## 上下水道の安全性

### ▽上水道の消毒薬

**議員** 法律上、上水道の塩素濃度の規定は、どうなっているか。

**上下水道課長** 給水栓においての残留塩素濃度が、0.1mg/l以上保持することと定められている。

**議員** 町では、残留塩素濃度は、遊離残留塩素と結合残留塩素のいずれを基準としているのか。

**上下水道課長** 遊離残留塩素である。

**議員** 残留塩素濃度の上限は。

**上下水道課長** 目標値は、1mg/l以下である。

**議員** 町での管理は。

**上下水道課長** 平均して0.4mg/l前後である。

**議員** 有田ダムや竜門ダムなど、原水の状態での殺菌薬量の考慮は。

**上下水道課長** 原水を取水する時の水質で調整し

ている。

**議員** 塩素濃度が高い場合の疾患について。

**上下水道課長** 塩素が水中の有機物と反応して、発癌性を持つトリハロメタンが発生したり、喘息を誘発するといわれているが、水道法に規定されている範囲であれば、影響はないと考えている。

**議員** 町で使用されている殺菌剤は。

**上下水道課長** 次亜塩素酸ナトリウムである。

**議員** 二酸化塩素は、欧州で一般的に使われている塩素剤で、日本でも今後の使用が検討されている。消毒性、残留性が優れていると言われているが、認可されたら使用する意図はあるか。

**上下水道課長** 法が定められた時に考慮する。

**議員** 日本ではアオコ毒を水質基準として定めていないが、「ミクロキスチンLR」を要検討項目として、目標値を0.0008(暫定mg/l

以下と定めているが、検査はなされているか。

**上下水道課長** ペーパー値で管理している。

	二酸化塩素	クロラミン	次亜塩素酸塩	オゾン
消毒性	◎	△	△	○
残留性	◎	○	△	×

二酸化塩素は欧州で一般的に使われている塩素剤で、日本でも今後の使用が検討されている  
▲検討されている消毒薬

### ▽定住者促進へのPR

**議員** 定住者への支援金は他の市町でも実施されていることであり、住環境、特に飲料水の安全性については、移住促進の目玉になるのではないか。

**上下水道課長** 法で定められているのは、無償である。

**町長** ふるさと回帰支援センターでも言われるよ

うに、美味しい水、美味しい食べ物、豊かな自然がある。水以外でもPRしたい。

## 町所有不動産

### ▽保育園跡地

**議員** 旧がの保育園は、法面修復の際、家屋解体と聞いている。旧やまだに保育園を含め今後の有効利用は。

**財政課長** 旧やまだに保育園は、該当区の浮立保存会の要望で貸与している。旧がの保育園は、売却を予定しているが、用地の一部に私有地があり、対応が必要である。

### ▽共立病院医師住宅

**議員** 未使用住宅について、建物ガリフォーム可能のうち賃貸や売却ができないか。

**財政課長** 土地は町より無償貸与、建物については無償譲与となっているが、病院事業のみに使用

するとの契約がある。不使用建物は、有田町へ返還されている。公用、移住予定者のお試し住宅、不登校対策事業用として使用する。売却可能分は、諸問題解決後、売却予定である。

## 移動販売

### ▽買い物支援

**議員** 商品を見て買い物をしたという被支援者の支援方法は。

**健康福祉課長** 法の規制もあり有効な手立てがないが、今後検討したい。

### ▽移動販売者への支援

**議員** 移動販売を計画している業者、店舗やボランティアへの、経済的な支援は。

**健康福祉課長** 希望者に対して、町独自の支援はないが、県の事業がありそうなので紹介したい。

# 公共下水道の接続対策 町長が陣頭に立って

## 答 可能な限り時間をとりたい



池田 栄次 議員

### 公共下水道への接続

#### ▽内山地区は特に低い

議員 平成17年に旧有田町がアンケートした結果、内山地区は下水管敷設に否定的だった。今、町全体の接続率は60%弱。内山地区は一部を除き10%で特に低い。接続率向上が町財政の回復に大事ではないのか。

地区名	水道加入	下水接続	接続率
上幸平	113件	12件	10.6%
白川	149件	35件	23.5%
大樽	68件	11件	16.2%
稗古場	75件	23件	30.7%
幸平	57件	14件	24.6%
赤絵町	44件	8件	18.2%
中の原	65件	13件	20.0%
岩谷川内	169件	68件	40.2%

▲内山の下水道接続 (R元12月末時点)

町長 浄化槽からの切り替えや下水管への接続を広報等で推進しているが、今後水質保全と衛生的な環境整備に地域の協力を

で接続を進めたい。

議員 町長が陣頭で地下タビ・円管服(つなぎ)で接続のお願いに回る意

思はないのか。

町長 可能な限り時間をとって接続願いに回る。

#### ▽長期的収支の見通し

議員 おおむね収支の分岐点は70%80%だが、80%の接続率試算で20年・30年先の収支の見通しは、

上下水道課長 令和4年度までに完了予定の、泉山区の下水管敷設費約10億5千万円を含め、全

体工事を151億円と見込み、令和6年度から約7億2千万円でポンプ

場と浄化処理場を増設する計画である。

町長 長期的な使用料収入の不足は、一般会計からの繰入れが必要である。

議員 令和6年度までの総費用が158億2千万円になる。今までの累積赤字はいくらか。

上下水道課長 過去、一般会計から約36億円を繰

り入れている。

議員 公営企業の会計処理は理解に苦しむ。

#### ▽国は合併処理浄化槽を

議員 環境省は小規模自治体の下水道事業による財政破綻を懸念して、合併処理浄化槽への転換を

勧めている。

町長 町も数回見直しており、直近では、平成26年に合併処理浄化槽と比較した上で、大樽・上幸平・中樽・泉山区も下水道区域に決定した。

### 住み続けたいまちづくり

#### ▽人口減少はなぜ続く

議員 町の人口動態を調べたが、過去4年程で転入奨励金等の受給者22

1人を含む転入が2161人、死亡を除く転出が

2546人だった。町長はこの実態をどう判断されるか。

町長 18歳の壁。進学・就職で年間100人前後

	転入者	転入・持ち家奨励金受給世帯	転出者
H28年	566	(19世帯 61人)	663
H29年	523	(18世帯 62人)	580
H30年	567	(15世帯 53人)	641
R元年	505	(14世帯 45人)	662
合計	2,161	(66世帯 221人)	2,546

▲有田町における人口動態 (人)

が町を離れている。他市町に比べて流出が多いとは思わない。

議員 転入・転出の実態は掴んでおいて欲しい。

#### ▽奨励金は6570万円

議員 4年程で転入奨励金はいくら支給したのか。

まちづくり課長 6570万円を支給した。

議員 奨励金支給数の10倍以上が毎年流出している。この分析が必要だ。

町長 定住・移住促進策を含め、今後の対応を尋ねる。

まちづくり課長 400人ほどが転出超過の状態だが、受給者の80%超が40歳未満であり、若年層の定住・移住に一役買っている。

#### ▽町の過疎化対策は

議員 団地や集落は高齢化・過疎化が進み、商店や医療機関もない。町の過疎化対策を聞きたい。

町長 過疎化対策は総合的な施策の組み合わせが必要だと考えている。今は経済的支援のみでは無理なので、切れ目ない町の総合力を推進して参りたい。

#### ▽住み続けたい町の施策

議員 転出を思い留まり、有田に住み続けたい施策があるのか。

まちづくり課長 一つの施策では無理であり、歴史、文化、産業などの総合的な枠組みを生かした取組を推進している。



梶原 貞則 議員

年間を通した観光客増のための環境整備を

答 グランドデザインを作成し整備したい

観光客増のために  
環境整備を

**議員** 2月25日の陶磁器業界を対象にした、議員と語るう会では特に有田焼業界の活性化について、様々なご意見、要望をいただいた。現在有田焼業界に対してどのような支援策を行っているのか。

**商工観光課長** 金融支援の一環として、振興資金貸付事業を実施している。有田焼未来プロジェクト事業として、テーブルウェアフェスティバルでのPR活動や、海外への販路開拓として、中国深圳での展示会出展支援。後継者育成事業では、地域おこし協力隊を採用による情報発信、大学と連携しての人材育成プログラム事業、佐賀県陶磁器工業組合と連携して、伝統的工芸品産業後継者育成事業を実施。有田陶器市への支援及び有田国際陶磁展の運営事業を行って

いる。

**議員** 議員と語るう会で出た数々の要望について回答をお願いしたい。

まず、「公営のアパートや空き家を安く提供して、若い人の働きやすい環境を作ってほしい」に対しては。

**町長** 住みやすい環境づくりのため、行政としてこういうことができるか検討していきたい。



▲「議員と語るう会」のようす

**議員** 「海外進出、販路拡大のための語学力など、

人材育成をしてほしい」に対しては。

**商工観光課長** 来年度、立命館アジア太平洋大学との連携協力のもと学生のインターンシップ受け入れ事業を予定している。その中で海外の人たちとの交流の中で、語学力と外国とのつながりを作っていきたい。

**町長** 県やジエト口とも海外進出の協議をしている。

**議員** 「昨年の、ハフラタモリ」の放映の後、特に、泉山の磁石場の観光客が増加した。

観光客を増加させるための環境の整備のグランドデザインを作成を、若い職員や町民の人達、若者、よそ者、ばか者、女性 のチームに作成してもらい、環境整備してもらいたい」に対しては。

**町長** 今後の審議会などでは、できるだけ女性を登用し、グランドデザインを作り、環境整備をし

ていきたい。

**議員** 「人口を増やすために企業誘致を促進してほしい。人口が増えれば、その家族が窯業界に就職



▲泉山磁石場

する機会も増える。南部工業団地予定地を早急に拓き、東京有田会や佐賀県人会の人脈を生かして企業誘致をしてほしい」に対しては。

**町長** オリンピックや、工事費の高騰など、色々な状況がありタイミングを図っている。もう少し

待ってほしい。

**議員** 「以前あったへがんばる助成金」を復活して、商社のカタログ製作、窯元の型製作等に助成をしてほしい」に対しては。

**商工観光課長** 来年度、海外事業展開の補助、産業観光への取り組みを実施予定。へがんばる助成金」は検討していきたい。

ふるさと納税の返礼品に、有田焼と町内の農産物のコラボ商品を

**議員** ふるさと納税は、今年も昨年並みに約9億2千万円に達している（2月末現在）。返礼品は、今年は昨年よりも陶磁器が増えているようである。返礼品に、榎田米とご飯茶碗、金柑ジャムとパン皿、高菜漬けと漬物皿等有田焼と町内の農産物がコラボしたものを開発してはどうか。

**総務課長** 良いものがあるればコラボ商品も開発していきたい。

# 児童虐待の防止 子どもの安心・安全を図るべきでは

答 情報を共有し、虐待防止の意識を高めたい



蒲原 多三男 議員

## マイナンバーカードの活用

**議員** 国は昨年9月に行政手続きの電子化を検討し、カード所有者を対象にキャッシュレス決済ポイント付与や健康保険証としての活用と、カード取得の交付円滑化も促しているが国からの指示・連絡はあるか。

**住民環境課長** すでに連絡は来ている。

**議員** 今年の9月スタートで全国共通でマイナンバーが開始される予定。来年の3月からはカードを健康保険証としての利用も本格化される。

## ▽カードについての現況

**議員** マイナンバーカードによるポイント制度の概要は、このカードで町発行の各種証明書をコンビニ交付はできるのか。又、現在のカード取得はどれくらいか、町の対応は。

**総務課長** 住民環境課で

カードは発行する。マイナポイント制の活用はアプリをインストール後にマイナンバーの設定を各自がする。5000円を限度で25%がキャッシュレスで買える時にポイントがつく。使用は今年9月から。登録のフォロー、手伝いを住民環境課の近くでする予定。

## 住民環境課長

コンビニでの証明書発行は、すぐに対応はできない。印鑑証明書、住民票の交付の設定で264万円、維持費で年間202万円が必要。町内のカード取得率は先月で11・75%。

## ▽今後の取り組み

**議員** 県内の4市4町がコンビニ交付をすでにやっている。町民へのサービスと利便性の向上を図れないか。

**町長** カードの取得状況や近隣市町も参考に考えたい。現在、町の職員・家族にカードの取得を勧めている。

**議員** カードを健康保険証として、使用する取り組みは。

**健康福祉課長** 来年度中に準備をし、令和3年3月からのスタート予定。転職した時に、新たな保険証を待たずに受診でき、高額療養費限度額認定証が必要なくなり、確定申告にもカードが使える。



▲広い使い方を

## 子どもの読書活動の更なる推進

**議員** 平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が文部科学省より公布されているが、生涯学習課長 承知して

いる。

**議員** 要旨は、子どものために読書環境をよりよく整えるために11条からなる法律である。読書には、言葉、表現力、知性・感性を豊かにする力があるが、その取り組みは、子育て支援課長 保育園では、園児に絵本や紙芝居にふれる機会がある。

**生涯学習課長** ブックスタート事業として、7カ月児健診時に読み聞かせを行い、2冊の絵本を配布や他にも幼児対象の読書活動がある。

**議員** 生活習慣や世相、社会風潮が子どもの読書に影響があるのでは。

**教育長** 読書は子どもにとって大事なことだと思つ。学校、生涯学習課と

も連携しすすめていく。

## 児童虐待の防止

**議員** 町内の児童虐待の掌握は、虐待防止のために事前に大きなアンテナを張り、複眼的な対応の進め方が重要では。

**子育て支援課長** 障害による問題行動、非行、不登校を含めて平成21年・4件、平成25年・17件、平成30年12月迄・32件である。要保護児童対策地域協議会実務者会議を年3回開催。案件が出たら当事者に対し、即行動で機敏に動いている。

**教育長** 日々、情報の共有や地域の方々、保護者と学校との繋がりをより緊密にし、防止の意識を高めたい。子どものことを第一にしたい。

## ▲児童虐待防止法のポイント (4月施行)

**改正案のポイント**

- 親などによる体罰を禁止
- 懲戒権のあり方について、施行後2年をめどに検討
- 児童相談所(児相)で子どもの一時保護などの介入と保護者支援を行う職員を分離
- 弁護士が常時、児相に指導・助言できる体制を整備。児相に医師と保健師を配置
- DV対策との連携強化のため、児相と配偶者暴力相談支援センターが協力
- 人口や地理など政令で定めた基準を参考に都道府県が児相の管轄区域を決めた上で設置を推進

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。

- 子育てしやすいまちづくりには、10年後を見据えた地域づくりの目標を立て、保育士や看護師などの人材を積極的に有田に呼び込むことが必要。そのために、保育士や看護師の資格を取得する学生へ奨学資金を貸し付け、卒業後有田へ就職また居住すれば返済は全て免除するなどの経済的支援の予算組みをしては。
- 多世代交流センターの有効活用をお願いしたい。子どもと高齢者等とのふれあいも良いことだが、もう一歩進めて発達障害支援センター的な役割もできたらと考える。社協とその他の団体との連携に期待する。

- 各地区での危険箇所、避難経路、場所などがすぐ分かるように、いざという時に行動できる工夫が欲しい。
- 多雨に対する有田ダム下の白川河川の排水の改良を。
- 各地区で防災訓練等をされている。その資料、計画等を町の方で集めて指導・アドバイス等をしてほしい。
- 災害時は予想できない事態が発生し混乱する。防災放送が聞こえない箇所が多く改良が必要。
- 風災害防止のために屋根の取替工事をすれば工事費の何%を助成するとか、具体的な施策が必要では。

## テーマ「災害対策」

### 総務常任委員会

主に避難訓練について、意見交換を行った。

- 災害に対する訓練は先進地区に学ぶところが多いが、日ごろからの訓練や住民への意識付けが必要。
- 第一次避難所（町指定ではなく、安全面・移動時間・距離等の条件を満たした公民館が望ましい）に備蓄を兼ねた飲料水、食料、毛布等必要ではないか。
- 避難に際し、障がい者、独居老人等災害弱者、外国人等の名簿の公開及び個人情報や避難誘導者に対して開示できるかについては、個人情報開示と避難者の情報をどうするのが問題となる。
- ハザードマップの活用と周知、避難場所の設定を。
- 災害情報の聞き取りづらさを解消し、外部から通報の他、インターネットや携帯電話を使用し、避難場所、規模、状況などの発信と周知をいかにして全住民に届けるかが課題。
- ため池等日ごろよりの確認と危険情報の発信が欠かせない。
- 区単位での防災組織の確立と区役員、民生委員、消防団との連携を定期的に行い、平素より準備が必要。
- 有田町として災害対策に対する方針について町民にわかりやすく提示し、行動に繋げてほしい。
- 年1回の防災訓練を。



## その他

- 3つのテーマは町政にとって重要な事項で、短時間だったが貴重な意見も出た。今回の意見等を今後の町政、議会運営に具体化してほしい。
- 議員が教科書どおりの説明でしゃべり過ぎの感あり。もう少し参加者の意見、要望を引き出す会であつたら良かった。
- 若い方も議員になれるようにしてほしい。
- 議員だけの給料では生活が難しいのでは。



# 議員と語ろう会を開催



有田町議会では、2月18日に西公民館で町内各種団体や町民の皆さん21人に参加いただき、「議員と語ろう会」を開催しました。

「災害対策・子育て支援・企業誘致と農業」をテーマに、参加者を3つの班に分けて、委員会ごとに議員が各班を移動する方式で意見交換会を行いました。いただいたご意見は今後の活動や町政に反映できるようにしていきます。

意見交換会で出されたご意見（アンケート提出分も含む）をテーマごとに抜粋して掲載しています。

## ●テーマ「企業誘致と農業」

### 産業建設常任委員会

#### 企業誘致

- 南部工業団地の現状はどうなっているのか。もったいないので急いでほしい。
- 大きな企業が来れば有田を出た人も戻ってくるのでは。
- 舞原工業団地の企業も人材確保が課題である。工業団地内も外国人を雇っている状況。
- 高校卒業後に地元に残るような施策を考えてほしい。
- 若い人は、給料と休日が多くなければ企業に入ってこない。
- 従来の有田の企業への支援もお願いしたい。
- 企業誘致→住宅確保→子どもの増加といった繋がりのある施策を。
- 企業誘致の情報をもっと流してほしい。
- 町として、企業誘致で何を最優先として捉えているか。
- 思いきって戸矢の工業団地開発に取り組んで欲しい。50年後を見据えて、今こそ決断すべきではないか。
- 良い情報があれば町内企業へ提供したり、人手不足には応援体制を作ったりしてほしい。
- 外国人の雇用対策として、コミュニティのあり方を研究する必要もあるのでは。
- 企業誘致は町の活性化に直結する。町長の工夫、奮闘に大いに期待する。

#### 農業

- 米だけの収入では生活できない。有田独自の

農業に取り組めないか。

- 先祖からの土地や農地を町ぐるみ・集落単位で管理しているが、後継する若い世代の考えが重要。
- 後継者がいない。町外へ行って帰ってこない。
- 集落営農にも温度差がある。
- 農業に魅力がない理由を考える必要がある。
- 農業関係者として、議会や行政と一緒にあり、農業で生活ができる魅力ある産業になれば幸いである。
- これからの農業はやり甲斐のある職業になると思う。そのためには人並みの収入がなければ長続きしない。
- 新規就農者を育成する「トレーニングファーム」を有田でも取り組んだらどうか。

## ●テーマ「子育て支援」

### 文教厚生常任委員会

- 多世代交流センターは高齢者と乳幼児やその親との交流と支援の場と聞いているが、上手く機能するのが。
- 中学校の部活数が減っているが、生徒の選択肢が狭まらないような対応ができないか。
- 現在の奨学金制度では大学などに進学し、卒業して就職した時点で返還金を背負って社会人になることになるので、子どもたちが可哀相だ。
- 大学や高校の授業料免除など支援を受けられるようになっているが、義務教育の期間よりも学費がかかる。

# 多世代交流センター「ゆいたん」開所

(令和2年4月27日利用開始予定)

子育てを支援する場、子育て世代と高齢者が交流する場として、有田町多世代交流センター「ゆいたん」が令和2年4月、大木宿に開所しました。

この施設は、子どもと子育て世代が集い、同じ悩みを抱える親がいつでも集える場となります。また、高齢者福祉において、地域で交流をしたい方や社会活動をしたい方が集える場としての役割も担います。



▲多世代交流センター「ゆいたん」

若い世代が希望を持って結婚、出産、子育てできる環境を作るという基本目標のもとに、地域福祉や生活支援拠点として今後の利用が期待されます。

## 陶磁器業界関係者との意見交換会を開催

2月25日、生涯学習センターで町内陶磁器業界関係者の皆さん32人に参加いただき「業界の現状、課題と後継者育成、要望・支援」をテーマに意見交換会を開催しました。



▲意見交換会のようす

### 議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。

☎46-2117

### 行政視察受け入れ報告



▲白石町議会総務常任委員会視察(2月10日)  
議会活性化の取り組み、行政事務の効率化(ペーパーレス会議システム)について研修されました。

### 議長交際費支出状況 (令和2年1月~3月)

項目	件数	支出額	備考
			※支出なし

**議会広報発行特別委員**  
 委員長 福島日人士  
 副委員長 古賀四郎  
 委員 諸隈洋介  
 委員 岳川淳彦  
 委員 樋渡徹  
 委員 立部正則

今、人類は新型コロナウイルスと戦っている。わが国においても感染拡大に細心の注意が払われているが、現時点(3月末)では収束の傾向は見られない。幸い当町の発生報告はないが注意が必要である。

全国的にマスク・アルコール消毒液の不足、デマによるトイレレットペーパー等の買占めがみられ、およそ日本人として慎むべき行動もみられた。

また、学校休業の要請や大きなイベントの開催自粛、海外渡航の禁止要請や様々な要請により、経済活動までもが未曾有の不況に陥っている。このような状況下では我慢するしかできないが、パニックになる必要はない。日本人なら向こう三軒両隣の精神で乗り越えよう。

追伸：小紙の発行の頃には終息している事を祈るのみである。

四郎

